

平成 29 年度 第 1 回静岡県多面的機能支払交付金第三者委員会 議事録

- 1 開催日時 平成 29 年 9 月 11 日（月）13：30 から 16：50 まで
- 2 開催の場所 坂部みどりネットワーク（牧之原市）  
湯日美里会（島田市）
- 3 出席者 委員  
犬塚協太委員、瀧昇悟委員（委員長）、中村範子委員、平島安委員、  
山下雅幸委員、事務局ほか
- 4 議 事
  - (1) 静岡県多面的機能支払交付金の今年度の取組み状況について説明（事務局）
    - ア 平成 29 年度に交付金を受けて活動している地区は、232 組織、約 14,641ha  
カバー率 24.6%
    - イ 平成 28 年度末で交付金を受けての活動は終了したが、交付金を受けずに同様の活  
動をしていく地区は、14 組織
    - ウ 昨年度からの伸び率は 1.03 倍で、全国平均とほぼ同じ
  - (2) 志太榛原農林事務所管内の取組状況等説明（志太榛原農林事務所 農村整備課）
    - ア 管内の多面的機能支払の取組状況等
      - (ア) 管内は島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町（4 市 2 町）
      - (イ) 平成 29 年度に交付金を受けて活動している地区は 39 組織、約 1,872ha  
うち、田は 576.9ha、畑は 1,295.1ha（茶の栽培が主なため畑が多い）
      - (ウ) 平成 29 年度に新規で活動している組織は 4 組織、28 年度末で交付金を受けての  
活動を終了した組織は 5 組織
    - イ 視察先の概要について
      - (ア) ふじのくに美しく品格のある邑に登録されている。
      - (イ) 農地維持支払・共同活動・長寿命化の活動を行っている。
      - (ウ) 富士山静岡空港を挟んで南に坂部みどりネットワーク、北に湯日美里会がある。
      - (エ) 坂部みどりネットワーク（牧之原市）は平成 24 年に活動開始。水田を中心に約  
100ha で活動していたが、平成 29 年に畑を加えて 209.2ha になった。まちづくり  
活動がさかんで、坂部農援隊を結成し新たな農作物の試験栽培やフェイスブック  
による広報活動を積極的に行っている。
      - (オ) 湯日美里会（島田市）は平成 21 年度に活動開始。茶園を中心とした約 280ha で  
活動。防霜ファン等の施設の維持管理、法面・農道等の草刈りを行っている。

### (3) 坂部みどりネットワーク

- ア 平成 24 年に多面的機能支払交付金の活動を開始。坂部土地改良区から話があったのがきっかけ。当初は、水田の用排水施設の漏水等の修繕を行っていた。
- イ 水田約 100 町歩に加え、平成 29 年度から畑約 100 町歩も拡大した。
- ウ 水田だけでは収益率が低い。また、茶価が低迷しているため、田にとうもろこし、すいか、メロン、野菜等の他の作物を植えて、お茶の収益を補完できる農作物を立ち上げようと努力している。
- エ 坂部農援隊がいろいろな作物の試験栽培を行っている。
- オ 耕作機械にコストがかかり、農家所得は 200~300 万円程度。農家人口の減少を防ぐため、農業経営の多角化が必要と考える。
- カ 別途事業で、水田の暗渠排水化を進めている。
- キ 平成 29 年度から取組面積が拡大したが、多面的機能支払交付金の主な使い方は？  
⇒畑については、第 2 ステージのポンプや防霜ファンの修繕費。防霜ファンが老朽化し更新したが、落雷の被害が出ている。  
田については、他の作物の試験栽培。
- ク 交付金が約 1,400 万円あると、会計や報告等に手間がかかり大変だと思うが、どのようにしているか？  
⇒専属の会計担当がいる。事務局は区民センターの事務室に置いている。
- ケ 組織の構成は？⇒80 代から 30 代。女性は約 3 割で非農家の方もいる
- コ 坂部農援隊には非農家の方も参加しているのか？就農させるのが目的か？  
⇒参加している。将来的にフリーマーケットをしたいと考えており、そのためには非農家の方の参加が必要。約 60 人の隊員がいるが、試験栽培するには人数が必要。11 の班を編成して活動している。
- サ 「榛原里やまの会」とは、どのように連携しているか？  
⇒坂部区とは別の地区の人も入っている組織で別に活動しているが、連携している部分もある。小学生の田植え体験、ホタルの育成等を行っている。
- シ 非農家の方は農地を借りて栽培するのか？  
⇒借りている。栽培した農作物をどこに売るのが問題。1ヶ所に集中させることはできないので、販路を考える必要がある。
- ス 他地区から入ってくる方はいるか？  
⇒いない。もともと地区にいて農家をしていない方が農援隊に入っている。
- セ 茶価が低迷しているが、茶畑は減っているか？  
⇒栽培面積はそれ程減っていない。ただし、傾斜地の茶畑は、農業者が高齢になり機械化もできないため手放していつているところはある。
- ソ 傾斜地の茶畑はどうなっていくと思うか？  
⇒労力がかかるので山に戻っていくと思うが、機械が入れる比較的平坦なところは茶以外の農作物（野菜等）を作っているところがある。

- タ フリーマーケットは生産者の名前がついていて、安心感があり人気がある。これからの方向性は？  
⇒市が対話と協働のまちづくりを目指しているが、坂部区は最も早く平成 24 年度から取り組んでおり、フェイスブック等による坂部の PR、高齢者の居場所づくり、地区外の人への参加も歓迎する坂部農援隊、ゆるキャラさかべっちの活動をしている。
- チ 新規で就農する方はいそうか？  
⇒暗渠排水化を希望している 7 人は全て若い後継者
- ツ 圃場整備はいつしたか？⇒約 40 年前
- テ 試験栽培を行っている畑は、土を盛っているか？  
⇒盛っていない。平安時代の遺跡が出て、発掘調査を行った経緯がある。
- ト 大井川からの農業用水の配水を受けられるようになり、栽培する作物の自由度は高くなっていると考えられる。
- ナ 農業者と非農業者と一緒に活動に取り組み、様々な活動組織が連携して、地域の活性化を目指していることが強く感じられる。

(現地確認) 試験栽培を行っている畑

- ニ いろいろな作物の試験栽培を行っている。(とうもろこし、ブロッコリー、カリフラワー、ロマネスコ、キャベツ、ミニカボチャ、スイカ、メロン、枝豆、サトイモ、エビイモ等)
- ヌ 地主 2 人から農地を借り、坂部農援隊が活動している。

#### (4) 湯日美里会

- ア 平成 21 年度に活動を開始、取組面積は茶畑 280ha
- イ 組織の役員は 50 代から 70 代  
農業者は年配の人が多いが、若い人もいる。平地は機械が入り借り手もいるが、傾斜地は難しい。
- ウ 自治会が中心になってお茶をよくしていこうとしている。
- エ 他団体との交流
- (ア) 初倉牧之原広域協定と交流し長寿命化の活動
- (イ) 牧之原畑地総合整備土地改良区と水路補修やポンプ施設点検等の研修
- (ウ) J A 女性部と花の植栽
- (エ) 長寿命化事業を実施するにあたり、防霜ファン組合を立上げ
- オ 地区の集会等で活動の説明をし、意見を聴いている。
- カ 農道を舗装したことで、刈った生葉を置いたときに石やゴミが混ざりにくくなった。
- キ 多面的機能支払交付金の使途のしぼりが厳しい。似たような書類がいくつもあって、内容も細かく農家にとっては難しい。

- ク お茶への水の使い方は？  
⇒主に防除に使用。
- ケ 多面的機能支払交付金でパイプラインを整備することはあるか？  
⇒漏水等が発生したときは多面的機能支払交付金を使うことがある。  
ファームポンド周りの草刈りにも使用している。
- コ 草刈りは集落ごとに活動日等を決めて行っているか？  
⇒集落ごとに年1、2回行っている。活動日は町内担当委員が集落ごとに決めている
- サ 個人の畑のこさ切りに組織のお金を使いにくいとのことだが、個人の責任で行うのか？皆でローテーションを組んで行うことはできないか？  
⇒多面的機能支払交付金は1人の土地には使えない。複数の人が関わっている土地に使っている。
- シ 耕作放棄地を誰かに貸したり、他の作物を作る等のために多面的機能支払交付金で整備するのはどうか。
- ス 取組面積の280haのうち、貸借はどのくらいか？  
⇒1割くらい。農家をやめる人は少ない。
- セ 組織に参加している女性部はどこの？  
⇒J Aの女性部。運営委員会に関わっている。
- ソ 組織の中にJ A女性部は何人いるか？⇒約25人
- タ 書類が細かく大変とのことだが、会計事務をJ A等に頼むことは考えないか？  
⇒大変なのは毎年様式が変わるため。組織内の事務局で何とか作成している。
- チ 生態系保全は具体的に何をしているか？  
⇒湯日川の支流の草刈りをしてホタル等の生態系の確保を図っている。
- ツ 水田を茶園とした圃場については、圃場の傾斜も無いことから、普通作への転換を考えていく必要があるのではないか。
- テ 茶園の草刈りは個々の農家が行っているか？⇒はい  
刈った草はどうしているか？⇒茶畑に入れている。

(現地確認1) 防霜ファンのサーモスイッチの交換

- ト 防霜ファン組合を立ち上げ、長寿命化でサーモスイッチを交換した。温度センサーにより摂氏2度になると防霜ファンが自動で稼働し、5度になると止まる。平成28年度に135個更新した。温度センサー1個で3個の防霜ファンが動く。
- ナ 防霜ファンが壊れたときの修理にも多面的機能支払交付金を使いたい。雷の被害がある。

(現地確認2) 農道の舗装

- ニ ツユヒカリを栽培

- ヌ 園内道を約 120m舗装した。道幅は変えていない。  
今年度、他の農道も舗装する予定
- ネ GAP 認証を取るには、茶に砂ぼこり等が入っているといけない。

(7) 事務局挨拶

- ア 無事に現地視察を実施できた。
- イ 第2回第三者委員会（会議）の日程調整を追ってお願いします。

5 その他

配布資料

- ① 第1回静岡県多面的機能支払交付金第三者委員会現地視察
- ② 平成29年度多面的機能支払交付金のあらまし
- ③ 多面的機能支払交付金平成29年度改正のポイント
- ④ ふじのくに美農里プロジェクト 多面的機能支払交付金を活用しよう
- ⑤ 平成29年度静岡県の農業農村整備